



断熱技術でCN化推進



亀津克己社長に聞く

今年、創業130周年を迎える尼津工業。現在はどのような経営方針をとっているのか。

現行の中期経営計画(2022年度)では、「ひみつ」と「つな」をスローガンとしている。世界中がカーボンニュートラル(CN)に向けて変化する中、変化に対応する年間にじよどと走めた。「ひみつ」作りに取り組む年には、「し」幸せ、「くみ夫」、み未来の意味が

「断つ・保つ」技術を進化

省エネ・水素利用の推進貢献

さまざまな工夫を凝らし、未来をつくり、その結果、新たな幸運が生まれ出される。この「しきみ」のサイクルを円滑に進めいく。世の中が大きく変化しても、断つ・保つ・連携の3つのコア技術が必要となる。

これまで、多くの間で培つた技術を進化させながら社会の変化に対応してきた。幸を得るためにいままで取り組みを行なうのか。

「サモフィット」が第8回

Thermofit® ニチアスの省エネ診断システム

診断 □ 提案 □ 対策 □

熱ロスが見える! CO2排出量が分かる! ワンストップで対策できる!(実施・効果確認)

「诊断」では、サモグラフィカメラ(サモモトマ)を使い、熱ロスが大きな箇所を可視化し、熱ロス量を数値化。外装材が飛び出している強化ガラスや、断熱材が濡れて断熱効果が低下するケースも多い。例えは、熱ロスを防いでいる省エネを推進するため、ニチアスは、省エネ診断システム「サモフィット」を提供している。断熱材メーターで、施工手掛け

雨水が入り込み、保温材が濡れてしまう省エネを推進するため、断熱材(保温材)は経年劣化し、熱損失が大きくなる例えは、熱輸送配管保温材が設置されても外装材が飛び出している強化ガラスや、断熱材が濡れて断熱効果が低下するケースも多い。例えは、熱ロスを防いでいる省エネを推進するため、ニチアスは、省エネ診断システム「サモフィット」を提供している。断熱

材メーターで、施工手掛けられ、対策事の提案・実施・効果検査まで、トータルサポートする。

「サモフィット」は「診断」で、他より異常高温の箇所を可視化する

「提案」では、現状のままでの二酸化炭素(CO2)排出量や熱ロス量、対策を講じた場合のそれらの削減量、対策にかかる費用と対策によるコスト削減効果などを、対策が必要と判断された場合は対策を施す。

「CO2排出削減量提示」

「诊断」では、現状のまま

で二酸化炭素(CO2)排

出量や熱ロス量、対策を講

じた場合のそれらの削減量、対

策にかかる費用と対策による

コスト削減効果などを、対策

が必要と判断された場合は

対策を施す。

「提案」では、現状のままで二酸化炭素(CO2)排

出量や熱ロス量、対策を講

じた場合のそれらの削減量、対

策にかかる費用と対策による

コスト削減効果などを、対策

が必要と判断された場合は

対策を施す。

「诊断」では、現状のままで二酸化炭素(CO2)排

出量や熱ロス量、対策を講

じた場合のそれらの削減量、対

策にかかる費用と対策による

コスト削減効果などを、対策

が必要と判断された場合は

対策を施す。

「提案」では、現状のままで二酸化炭素(CO2)排

出量や熱ロス量、対策を講

じた場合のそれらの削減量、対